



会 長 :村松 孝保 幹 事 :深沢 英雄 例会日/毎週木曜日 12:30~13:30
会長エレクト: 仲野 和則 副幹事 :伊東 良洋 例会場/焼津グランドホテル
事務所/静岡県焼津市本町 2-12-8 ウィ・マリソール焼津 104B TEL 629-4850

第 2597 回 No.13 2013~2014 10 月 3 日 (木) 会報担当: 福崎 正展

卓話: 元 SBS アナウンサー 静岡県地震防災アドバイザー 郷 隆志 氏
演題: 南海トラフ巨大地震で焼津市は?

◆ 司会者

幹 事 深沢 英雄 君

◆ お客様の紹介

会 長 村松 孝保 君

◆ 開会の点鐘

会 長 村松 孝保 君

◇ 元SBSアナウンサー

静岡県地震防災アドバイザー 郷 隆志 様

演 題「南海トラフ巨大地震で焼津市は?」

◆ ロータリーソング

ソングリーダー 奥川 将之 君

◆ お食事



☆ 奉仕の理想
☆ 東京の灯よいつまでも

『今日のお食事』



◆ 4つのテスト

職業奉仕委員会委員長 近藤 吉典 君



◆ 会長挨拶

会 長 村松 孝保 君

今月は「職業奉仕」「米山」のダブルの月間となります。「超私の奉仕」の理念の基、職業をつうじての奉仕を実践する



という大きな目的がロータリーにはあります。職業奉仕という考え方は、数多くある奉仕団体のなかで、ロータリー特有のものではないでしょうか。

「職業奉仕」とは皆さんどのようにお考えでしょうか？ロータリークラブを1905年にシカゴで立ち上げたポールハリスは、5年間かけてロータリーの基礎を構築したそうです。その中の大きな目的が、「職業をつうじての奉仕」です。「職業奉仕」にたいする考え方はそれぞれが違う考え方があると思いますが私は当然であると思います。

人間の奉仕についての考え方には段階があるそうです。最初は、自分の事しか考えない。他人の事などかまっていられない。次に、自分の事だけ考えるのは、かえって自分のためにならない、他人との協調性が必要であると気が付く。更に、他人と仲良くするだけでは共同生活の進歩はない。むしろ、積極的に他人に奉仕をする事こそを、世の中を明るく豊かにする事であると気付く。このような段階をおってゆくと言われているそうです。奉仕の大切さに気づいた時にはまず、自分自身を律する事が必要であり、他人の立場になり考え行動する事が必要であると言われます。それが、自分自身の職業をつうじて社会に奉仕できれば素敵な事だと思います。

自分の職業に誇りをもち、職業に愛情をもち、責任を持つことが「職業をつうじての奉仕」の第1歩になるのではないかと思います。私自身「シナジー効果」という言葉にここ何年か思いを寄せています。シナジー効果いわゆる、相乗効果、お互いが良くなる効果という事ですが、この言葉もロータリーの精神に繋がっていると思います。ロータリアンとして、「誇りをもち」生きてゆきたいと思います。

◆ 幹事報告

幹事 深沢 英雄 君

- ① 中山君の入会について異議がなかったため、入会が認められました。来週入会式の予定です。
- ② 次週10月10日は、志田ガバナーの公式訪問例会です。現在クールビズですが、公式訪問ですので、スーツ・ネクタイ着用をお願いします。
- ③ 地区職業奉仕セミナーが10月12日(土)13:00~15:45までホテルアソシアにて開催されます。

- ④ 10月20日に地区の新会員研修があります。
- ⑤ 本日の回覧資料です
 - ・小川中での講話報告(講師:多々良 匡 君)
 - ・近隣クラブの例会変更通知

◆ 委員会報告

- ① 青少年奉仕委員会

委員長 清水 誠一 君

- ◇ 小川中講師派遣の件



- ◇ 講話報告

講話者 多々良 匡 君

講師派遣

小川中学校1年生

(11HR・12HR・13HR)

平成25年10月2日

講師:多々良 匡 君

テーマ:命のつながり



◆ 同好会報告

- ◇ 麻雀同好会

会長 奥川 将之 君

- 第2回麻雀大会開催のお知らせ



◆ 会員のお喜び

親睦活動委員会 塩川 彰 君



【結婚記念日】

- 多々良 浩吉 君 S38. 10. 6
- 近藤 吉典 君 S47. 10. 10
- 藁科 博伸 君 S53. 10. 10

【夫人誕生祝】

- 水野 康男 君 (安代 様) 10. 11
- 大石 訓永 君 (昌代 様) 10. 12
- 山中 一成 君 (恒子 様) 10. 16

【入会記念日】

- 福崎 正展 君 H24. 10. 4
- 大石 博之 君 H17. 10. 6
- 岡村 延昌 君 H16. 10. 7
- 山竹 葉子 君 H23. 10. 13
- 松岡 好子 君 H23. 10. 13

◆ スマイル報告

スマイル委員会 仲本 滋哉 君



① 大石 訓永 君・松村 友吉 君

高校野球の静岡大会決勝で静岡高校が延長で3対2サヨナラ勝ちしました。優勝喜びを込めてスマイルします。

② 深沢 英雄 君

焼津市市民活動交流センターがプレオープンしました。場所はロータリー事務局の隣です。ご近所なのでこれから仲良くして下さい。

③ 福井 茂 君

先日、朝霧ジャンボリーへ行き、生まれて初めてイーグルを出しました。目の前に木が邪魔となっていたところから思い切り曲げたら2打目で入ってしまいました。賞金はオリンピックの500円でした。

◆ 卓話 講師の紹介

プログラム委員会委員長 藪崎 二三男 君



◇元SBSアナウンサー

静岡県地震防災アドバイザー 郷 隆志 様

演 題 「南海トラフ巨大地震で焼津市は？」



3.11の東北大震災以降、全国的に災害に対する意識は強くなった。駿河トラフ・南海トラフ沿いで地震が発生した場合、焼津市民は多くの人が津波に備えなければならないと考えています。決して間違っていないが、多くの情報に過剰反応している節もある。さまざまな調査が実施され、地震や津波、そしてそれらがもたらす災害の規模の想定がなされているが、我々は情報に振り回されること無く、まずは被害想定を正しく知って、その上でどんな備えが必要なのか対策することが必要である。

焼津市では想定最大規模の地震（レベル2/震度7）が発生した場合、市役所付近で、想定波高は2.85m、想定浸水深は0.4mと以外に小さい。東海地震は津波だけではなく、津波＋振動＋火災の”激震災害”と予想されているため津波のみに偏った備えは危険である。どんな状況になるか予想がつかないからこそ、想定に囚われること無く、最善をつくし、率先して避難するべき。守っ

てくれるのは行政ではない。”自分の命は自分で守る・自分たちの地域は自分たちで守る”ことが何よりも大事。「津波てんでんこ 命てんでんこ」という言葉は、家族や仲間の絆をたちきってそれぞれ逃げろという意味ではない。家族の絆や、周りとの信頼があるからこそできる行動を表している。

難しいことではあるが、私達人間は大自然に対してもっと謙虚にならなくてはいけない。

◆ お礼

会 長 村松 孝保 君

◆ 閉会の点鐘

会 長 村松 孝保 君

◆ 出席報告

	会員数	出席数	出席率	9月19日 M-UP	9月19日 確定 出席率
10月 3日	46 (44)	36名	81.82%	1名	88.64%

◆ メイクアップ

清水 誠一 君 (理事会)

